

令和3(2021)年度の予算が決まりました ～多様なニーズに応え 希望の持てる まちづくり～

▶問合せ 総務グループ ☎079(435)0357

概要

一般会計と特別会計などを合わせた予算総額は、242億8,932万3千円で、前年度と比べて11億8,984万円、5.2%の増となっています。

会計別では、一般会計が131億4,908万9千円、特別会計が11億8,932万3千円、企業会計が29億3,252万円で、前年度から1億6,159万8千円増えています。

また、国民健康保険事業など4つの特別会計の予算総額は、82億7,714万4千円で、主に介護保険事業が増額となった結果、前年度比1.5%の増となりました。

また、企業会計は水道事業と下水道事業の2つあり、合計は29億3,252万円で、前年度から1億6,159万8千円増えています。

今年度の特徴

① 高齢者のフレイル予防を実施

高齢者のフレイル(虚弱)予防に注力するため、専任の保健師を配置することにより、介護や医療のデータを活用して地域の健康課題の分析を行うことにより、高齢者の保健事業やフレイル予防を効果的に実施します。

② 新婚世帯への経済支援を実施

今年結婚し、播磨町内で新生活を始める世帯を対象に、家賃や新居の取得などの費用に対して、最大30万円を補助します。

③ 小学校の給食施設を更新

令和4年度から予定しています。播磨南小・中学校による親子給食の実施に向けて、令和3年度は播磨南小学校の給食施設の更新を行います。

住民主体のまちづくりを推進するため、「住民協働推進事業」や「播磨ゆめづくり塾」により、町や地域が持つ課題解決に取り組み地域リーダーや団体の活動を支援してまいります。

また、多様化・複雑化する地域の課題や住民ニーズにきめ細かく対応するために、昨年からの「まちづくりアドバイザー」を配置しておりますが、自治会を始めとする町内の諸団体等が持つ課題・問題の解決に向けてサポートしてまいります。

本町の「マイナンバーカード」交付については、県内でもトップクラスの交付率となっておりますが、郵便受け取りも可能となる申請受付の簡素化や、企業等に出向いて一括して受け付けする出張申請を行うなど、申請・交付機会の拡大に努めてまいります。同時に「マイナンバーカード」を使った証明書等の「コンビニ交付」の利用促進を図ってまいります。

播磨町職員の人材育成につきましては、「播磨町人材育成基本方針」に基づき、意欲と活力あふれる職場づくりを推進してまいります。管理監督職員のマネジメント能力の向上を図る研修など庁内研修の充実にも取り組めます。また、町組織機構の

見直しについては、答申を踏まえ、令和4年10月の施行に向けて現在検討中でございます。コロナ禍により、職場環境においてもリモート対応が必要となつてきておりますが、本町では県のシステムを利用して「テレワーク」の活用を進めてまいります。

庁舎の改修工事といたしましては、一部のトイレは改修を終えています。経年劣化が進む残りの箇所についても改修を行い、来庁者や職員の衛生環境を改善してまいります。また、議会の議員控室におきまして、カーペットの全面張替え等を行い環境改善を図ります。

加古郡衛生事務組合で運営する稲美斎場「ひじり苑」の火葬炉につきましては、老朽化や棺の大型化に対応できるように大型火葬炉に更新いたします。

ごみ処理広域化につきましては、2市2町で構成する「東播磨臨海広域行政協議会」で、高砂市に「東播磨臨海広域クリーンセンター」を建設しており、令和4年度から稼働いたします。住民の方々には、地球温暖化防止という高い理念をもって、ごみ減量、分別にさらなるご協力を願っています。また、同協議会では「東はりま夜間休

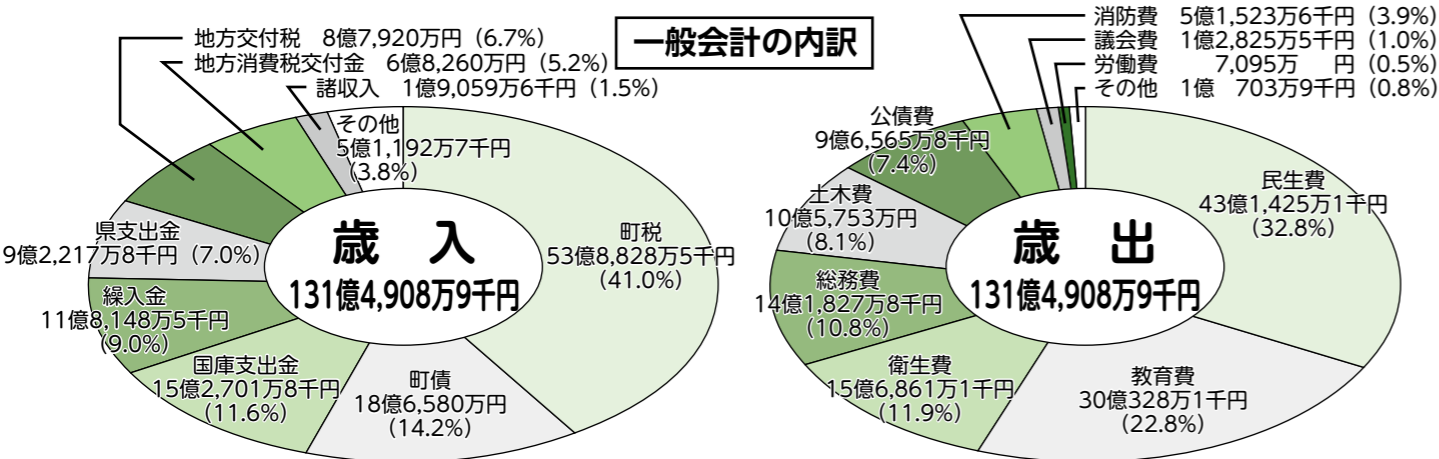
日応急診療センター」を建設中であり、本年度中の開設を予定しております。

運営方法等について、関係機関との調整、検討を進めてまいります。

令和4年度に播磨町は町制施行60周年を迎えます。本年度は記念誌の作成や記念式典の準備などを進めてまいります。コロナ禍により、停滞を余儀なくされた人々の活動やふれあひ、交流の場が、ワクワクの普及や新築の開発により、再び明るい希望を持って活発に動き出すことを願って、令和3年度の事業を展開してまいります。

以上、令和3年度の施策等、大綱を述べてまいりました。本定例会に議案として提案しております予算総額は、一般会計と4件の特別会計並びに水道事業会計、下水道事業会計を合わせ242億8,932万3千円で、対前年度比5.2%の増、うち一般会計では1

31億4,908万9千円で、対前年度比7.4%の増、特別会計では82億7,714万4千円で、対前年度比1.5%の増、水道事業会計では12億9,154万9千円で、対前年度比23.0%の増、下水道事業会計では16億4,097万1千円で、対前年度比4.6%の増となっております。



会計別予算の概要

区分	予算額	対前年度伸率
一般会計	131億4,908万9千円	7.4%
特別会計	82億771万4千円	1.5%
国民健康保険事業	34億6,773万1千円	0.4%
(財産区)	13億2,620万1千円	▲1.5%
(介護保険事業)	29億2,446万5千円	4.0%
(後期高齢者医療事業)	4億8,931万7千円	3.0%
企業会計	29億3,252万円	5.8%
(水道事業)	12億9,154万9千円	23.0%
(下水道事業)	16億4,097万1千円	▲4.6%
合計	242億8,932万3千円	5.2%

用語解説

歳入

入るお金

繰入金…各種基金(貯金)を取り崩し一般会計へ入れるお金
 地方交付税…町の財政需要に応じて国から交付されるお金
 町債…事業を行うために借り入れるお金

歳出

出るお金

公債費…町債などの借入金の返済

